

中和田教会だより

号 昭和五十四年九月二十日
37 戸塚区中田町七〇一
中和田教会広報委員 発行

イエズスの 玄義

主任司祭 宮下神父
青年時代聖書を讀んで、又
説教をきいてキリストが人びとを
救ふために十字架にかかつて御死
去になったという事はわかりま
した。昔目に復活して天に昇ら
れたということがどうもわかれ
りません。幸にカトリック教
会へ来て聖理を勉強してわ
かりました。

教会の教へによるとキリストは
眞の神であり眞の人であること
然し位格（ペルソーナ）責任の主体
は神のオニ位の御子のペルソーナだ
けで人間としてのペルソーナは無
いと云うことです。此れは玄義
であつて人間の知能では極め
ることは出来ません。福音書を
みるとキリストは御自分を指して
「私」と云う言葉と「人の子」といふ言
葉をお使になります。まことに
まことに私は云ふ……と云つて

委員会報告

- 一 敬老会の件 該当者二十一名
十月十四日中和田教会にて
小宴開催 招待状の配送
- 二 壮年会会合の報告
草取りの件 他 管轄及び美
化運動について発言交換
- 三 夏期学校報告
参加者三十五名
一日 フル・オニ西風わり
三日 ニ保川大池公園
皆様の御協力により無事終
了致しましたことを感謝致し
ます。

婦人会だより

教会の庭の萩も咲きみだ
れ子供達も学校の運動会の練
習に張りきっています。今日の頃
皆様も新たに祈りつつそれぞれの
活動にお励みのことと思ひ
ます。

九月十六日（日）九時ミサ後婦
人会の例会が開かれました。
三十名の方々がお集まり下さり
伊藤様と中島様のお二人の
新入会員の紹介の後遠足や
講習会について話し合が行わ
れました。

一 果しめにしてあります。秋の遠
足は十一月一日（日）九時半ア
環状改札口前集合で北鎌

神の神祕を教へられる時の私
は神様としての御自分で人の子
は苦しみを受け殺され三日目に復
活すると云われた時には眞の人間
としての御自分を指しての言葉
です。実にキリストは人間として
十字架に御死なさいました。た
その責任の主体ペルソーナは神で
あつたために神が死んだと同じ
功徳が生じました。神であるキ
リストは人性の生命を捨て、また
御自分で生命を取もどして御復
活になり御体をもつたまま天へ
昇つて神の右に座しすべてを
支配して居られます。

目で見ることも出来ない。触れ
ることも出来ない。知ることも出来
ない神様が聖マリアから生れ
成長して人びとと共に住み共
に食事をし人びとを愛し人びとの
ために死に復活して天に昇り人々
を罪から救ひ人びとに神の生命
をあたへ永遠の生命への道を開
いて下さりました。

最後の晩さんの時私を見た者は
天の父を見たのと同じ、私の声
をきいた者は天の父の声をきい
たのと同じで、私と天の父とは一つ

倉へ行くことに決まりました。手
院の散策後、鉢の赤で昼食を
しその後解散して午後には自由
行動となります。鎌倉の近代
美術館見学を希望の方々は
午後後にゆくりお楽しみ
下さい。なお交通費は各自の
支払となりますが昼食代は
お一人五百円ぐういの品を予
約し食費の半額は婦人会で
負担致します。寺院の入園
料も婦人会費より支払うこと
に致します。寺院散策コース
や昼食等についての詳しいこと
は十月の例会でお知らせ致
します。で御期待下さい。（而
天決行）

二 パッチワークの講習につきま
しては中町様より材料その他
御説明がありました。作成す
るものはクッションとバッグです
九月二十三日（日）の九時ミサ後
より始めますので多数御参加
下さい。

三 十月十四日（日）午前十一時の
御ミサより敬老会を行います
今年七十七歳以上の方々二十
一名に招待状をお送り致しま
した。当日は婦人会でお食
事のお世話をお願い致します。
お年よりの方々の上に神様

であるを教へて下さいました。ベ
ィー（10）私達もキリストの愛
を受け入れ神様にすべてを委
せた生活のうちに進みましよう。
以上

◎九月二十四日（日）平（土）

横浜教区邦人司祭の年の黙想
が不二聖心で行われます。神父
様方の上に聖霊のお恵みが豊
かでありましよう。お祈りしま
しよう。尚三十九日（土）の午後四時
のミサはご参り下さい。

◎敬老のお祝

十月十四日（日）教会の集會室
で行われます。十一時のミサに続いて
神父様を囲んでささやかなお
祝いをいたします。

◎ルカ荒井司教様の御霊省の祝

日（十月十八日）も近づいて参ります
た。今年も聖的約束を差上げ
たいと思ひます。九月三十日（日）よ
り準備いたしますのでよろしくお
願いいたします。

◎移任の日（九月十六日）には祈りと

献金の御協力をありがたうござい
ました。献金は一万七千七百五拾五円
でした。愛の献金と併せて三万円
を送金いたしました。

四.

の豊かなお恵みがあります
ようにお祈りいたします。

皆様の暖かいお気持ちから
ベトナム難民のための衣料品が
たくさん集まりました。早速武
田町奥山様が十六日（日）に聖園
修道院へお届けして下さいまし
ても喜ばれました。

御協力どうもありがとうございました。

五.

新たに九月より左記の方が婦
人会にお入りになりました。

これから公教聖理の勉強も始め
られますので皆様よろしくお願
い致します。

中島喜美子

中田町二七〇五三

（TEL）ハルミ（一四〇四）
伊藤純位子様の電話番号が
変更になりましたのでお知らせ
致します。

（TEL）四六二六（一八四三）
以田中

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

夏期学校の想い出
日旺学校の子供たちがたくさん
想い出をよせてくれました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

八月一日きようから、ぼくたちのきまが、つみつがはじまりました。いちばんさいしよは、おかあさんがきよつかいにつれてきてくれまゐりました。みんなはちやんとしていゝた。ミミサが、あつたうべんきようをしゝした。それから、ぼくたちはすゝしあそびました。それで、ひろくはんをたべて、プールに行き、みんなが、いゝいゝたので、ぼくはあまりおよげなかつたから、つまんなかつた。それで、おやつをたべて、おかあさんが、みかえにきてくれて、車にのつて、かえりました。

夏き学校の思い出

二年
七うら
まり

わたしたちは白ゆりプールに行く時
みんなであうんで歩いて行きました。
その時わたしは足がいたくてたまりま
せんでした。が、おんて歩いてプールに
つきました。大きいプールの方に入りた
いけれど、三軍まからだったのが、おんを
いて、小プールに入りました。小プールはひ
ろくでしか水がなかったもので、よくお
せん、でもみんなといーよだったの
とって、もたのしかった。そして、やいへんを
うつて、今日は終りて、すよって、先生が
言、おした。わたしはあわてて、もう一
ど、よくおした。

石井君がおににうるとゆうわけをうすぐ
につかまつてゐます。そも樂しく遊
んでゐるともうおがりがつゝいと老まが言
い出した。そして私と大原さんは「つまら
ない」と言つて上がり出した。そして雪兵
をうつてから帰りました。とても樂
しかったです。

7⁹ ールへ行った事

六集

吉

子

夏期学校で、もうプールに行きました。教会からプールまで、すごく遠くて足が痛くなりました。私は少ししか泳げないから、もうやりプールで練習しようと思いました。でもこんなにずっと歩いていては泳げるのだろうか？と少し不安になりました。でもやってみると、プールに着きました。でも何だか少し混んでいる様子でした。私はかきりよした。ようやく中に入って水着に着きました。でもきがえるところが、さしたなくて気持ち悪いネと、久美子ちゃん達と言いついてました。やつとプールに入れると思って外にあると、かつこんとききました。どつてかと云うと泳ぐすき間がせんせんないくらいこんでいたからです。あと三人ぐういいたかつた。なあと思ひました。それから準備係さうをして入ったけれど、人がたくさん入っている

八月一日夏期学校
三年 松下 悟司

“三年

松下

今日から、ほくたちの夏き学校かに
マリマシた。そてお母さんの車にのそ
行きマシた。教会に行きかうさいよに
ごミサをうけさかうべんきようをして、おひ
るごはんを食べてプールに行きおよいであ
そびマシた。そしてプールから出でかえりマシ
た。そておやつを食べマシた。たべりかう
夕のいのりをして、お母さんが車でおひかえ
にきてくれたので帰るかう、またあそ
びマシた。

プールへ行った事

五年

古

ਖਮ

プールに行く時早くプールに入りたい
 と思った。それで三十分ぐうい歩き
 した。そして着いた時にはつかれてく
 くらでいた。それで早く着がえて体
 そうをして、先生は入っていいよと
 言ったから入ってみた。冷たかった。
 だんだん泳いでいたうあつたくなつ
 てきた。そして後から石川君が水
 をかけてきた。ほくもやりかえし
 をした。そして石川君はほくにつ
 け、そして石川君はほくにつ
 けてやりした。ほくは石川君に見
 つかれた。そして石川君はほく
 につけてやりした。ほくは石川君
 に見つかれた。そして石川君はほ
 くにつけてやりした。ほくは石川
 君に見つかれた。そして石川君は
 ほくにつけてやりした。ほくは石
 川君に見つかれた。そして石川君
 はほくにつけてやりした。ほくは
 石川君に見つかれた。そして石川
 君はほくにつけてやりした。ほく
 は石川君に見つかれた。そして石
 川君はほくにつけてやりした。ほ
 くは石川君に見つかれた。そして
 石川君はほくにつけてやりした。

れから教会へかえりつゝた。

教々夏季学校でフルに
行った事

五年

七
津

憑

八月一日、百廿三日と夏草学校に行きました。その中でもとつとも楽しかった事が、白百合ホールに行った事だった。八月一日にホールに行き事になり私は一日の前の夜はウキウキしてどうも明日精れますようにと神様にお祈りしてからぬむりすいた。次の日おきてみるととてもいい天気だ。たのたので私はうれしくてたまらなくなつた。朝ごはんをすませてから家を出た。バスも時間どおりにきたのでとてもうれしかった。私は心の中で神様ありがとといひました。教会についてたうすた時間が少し早かったので私は本を読んで時間がくるのをまつていました。そして時間がきたのでおみ堂に入り朝の祈りをすませて学年別に勉強をして十三時になつたのでふべんとつをきかなくておいしく食へました。やつとホールに行く時間になつた。私達はホールの用意をしてさあお祭です。白百合ホールに行くまで十分ぐういがかつたので私は足がいたくなつてうすた。やつとホールにつくと私達のいたさかなくなりすいた。ホールにけいさと石井君が水をかけました。それがきつかけで私と大原さんと石井君でホールの中でおいかけっこをしました。石井君はすぐにもぐつてうすたのであまりよくみえかりません。でも大原さんは水に二にふかんでいるのですぐにわかりました。

ました。どつてかと言つて最後の
 夏期学校だったのにプールでぜん
 ぜん泳げなかつたからです。
 でもいろいろとよもういふことも
 あつたのでいい思い出にたりまし
 た。今の五年生もいい思い出が
 残るような夏期学校になるとい
 いとお願いしました。



(3) 符合 $7^0 - 14 = 2$.

夏の(一)の想い出

中和教会だより

クリスマスを迎へる

主任司祭

宮下神父

聖パウロはエフエゾ一五に『神は私たちをイエスキリストによつて御自分の子にしようと愛をもつてあらかじめ定めて居られまゝ』と云つて居られます。ベトレヘムの近くで野宿し羊の番をして居た羊飼たちが馬小屋でみた赤坊は人間となつた神の子イエスキリストでした。愛である神の御父は御子と地上に降すために私達の人性をお取りになりイエスキリストをまことの人、まことの神として世に生れさせ、その代償として御子(イエスキリスト)を信じて随分すべの者に御子の人性を通して神の子としての生命を与へるようになつた。即ち私たちの人性は人となつた神キリストの御人性を通して

婦人会だより

庭の小菊も咲きみだれ朝晩の寒さも一日と身にしみる頃となりました。

十一月一日(水)に行われ、婦人会の遠足は天候に恵まれ神父様をけじめ花坂権田即座も御同行され婦人会々員二十六名が参加し北鎌倉散策で秋の一日を楽しんでまいりました。

同月廿三日(日)東慶寺を昼食前に見て参りましたのでサマアゆたしい感じにもなりましたが日常生活からいへば離れ、三々五々会員同志おしゃべりながら自然な味やう機会をもつてができて、よかったです。

門前の下井当をゆつくり味わつた後、一時噴散散し午後には自由行動になりました。子供達の帰宅時間に間に合うように早く帰る方も鎌倉まで足をのびし、国宝館で日蓮の展覧を鑑賞された方もありました。

さて十一月十八日(日)れ時ミサ後、出席者三十一名のもとに婦人

昭和三十四年十一月二十三日
戸塚区中田町三〇一
中和教会広報委員発行

神の本性にあづかるものであります。

此の恵はわれ／＼の言葉ではうまく現わすことの出来ない神の賜物です。信仰の眼をもつて折りの心をもつて、赤坊イエスキリストのことが良くなるよう観想いたしおこよう。

以上

十一月委員会報告(十月三十一日開催)

一、宮下神父様御聖名のお祝いに

ついて、聖明花束と赤のストロを記念

品として進呈

二、七五三お祝に

例年通りメカイと下祝の鉛道

三、市民のつどいの件

十二月一日(土)テラス公会堂ホールに

て市民のつどいとして「マザーテレ

カとその世界の映画開催時間

は午後六時から八時

企画は戸塚原宿中和教会

入場無料

会の例会が行われ、遠足の会計報告や写真の申し込みについてお知らせがあり、その後、次のことが話し合われました。

一、十二月三日の神父様の聖名の祝日に婦人会よりお祝いの品として暖かいキルティングの下着シャツと下をさしあげる、ことになりました。又佐藤様にはクリスマスプレゼントとして花巻をさしあげます。

二、十二月二十四日(月)夜八時の御ミサの後、例年通り持ち寄りパーティを催します。一人一品以上ご用意をお願い致します。

三、十二月は才三日月が黙想会になりますので婦人会例会は十二月九日(日)れ時ミサ後に行います。今年最後の例会です。のでできるだけ皆様御出席されます様。

四、手芸講習として「トイレットペーパー入れ、毛糸人形」作りを和田様の指導のもとに十一月二十五日(日)れ時ミサ後に行

お知らせ

フランス・コザベリ才宮下神父様の御聖名の祝日を十二月二日(日)れ時ミサに続いて行われます。

黙想会の案内

待降節才三主日十二月十六日(日)に小神学校校長島本神父様の御指導のもとに行われます。

九時のミサより説教と共同告解を行います。予定十二時まで。よいクリスマスを迎えるため、各自準備いたしおこよう。

この日は十一時の御ミサはあります。

クリスマスは十二月二十四日(月)夜八時より行われます。その後持ち寄りパーティがあります。二十五日(火)は九時のミサ一回だけです。

横浜教区の新しい司教様が決まりました。ステファン・浜尾文郎司教様の着座式が来月の一月十五日(火)横浜雙葉学園の講堂で行われます。

お人形の材料は百六十円位でその他に毛糸とか針が必要で、御希望の方は、御用金で下申し込め下さい。

五、左記の方が新しく入会されましたので御紹介致します。

マリアテレサ 深井登美子 様

二飯田団地二〇一五〇

(TEL) ハ〇三〇九八九一

以上

十二月先唱者と侍者のお知らせ

先唱者 侍者

12.2 奥山 川原 福島

9. 位田 萩原 松下

16. 角井 倉金 小野 井 松下

23. 富田 角井 山本

24. 萩原 富田 下山

映画「ベル平和賞三賞者」

「マザーテレサとその世界」

来月だけ多くの方が観賞されるようおすすしめします。

